

平成25年度学校自己評価システムシート（県立松山高等学校）

目指す学校像 建学以来の伝統である「文武不岐」に基づき、幅広い教養と礼節を備え、社会に貢献できる品格あるリーダーを育成する。

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	<p>1 「チーム松高」としての組織的指導力に基づき、生徒の学力向上に努め、進学実績を一層向上させる。 特にSSH研究開発実施計画の円滑な実施を通して、学校の更なる発展・活性化を目指す。</p> <p>2 自己の在り方生き方を常に考えさせ、心身ともにたくましい、常に挑戦者たる生徒を育てる。</p> <p>3 保護者、地域、同窓会との「絆」を深め、地域から一層信頼される学校づくりを進める。</p>
------	---

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

出席者	学校関係者	5名
	生徒	2名
	事務局（教職員）	8名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成 目標を意味する。）は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価				
年度目標					年度評価 (2月1日 現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	実施日 平成26年2月3日	
1	ほとんどの生徒が国公立大学、難関私立大学への進学を希望している。「松高塾」をはじめとする学力向上の取組の充実により、進学実績向上に取り組んでいる。 これまでも3年間を見通した指導計画を実施しているが、今後更に「チーム松高」として組織的指導体制を確立していく必要がある。	<p>(1) 国公立現役合格36人、難関私立大学（早慶上理GMARCH）現役合格100人の実現</p> <p>(2) SSH研究開発の実施と学力向上の取組</p> <p>(3) 授業改善による学力向上への取組</p> <p>(4) 保護者の進路意識啓発</p>	<p>① 国公立大学・難関私立大学合格に向けた進学指導の充実</p> <p>② 「キャリア教育全体計画」の推進</p> <p>③ 進学補習「松高塾」の量的増加と質的向上</p> <p>④ SSH計画書に基づく方策の実施 理数科学力向上の取組の推進</p> <p>⑤ 進学力グレードアップ推進事業に基づく普通科学力向上の取組の推進</p> <p>⑥ 授業改善の研修の充実</p> <p>⑦ 生徒による授業評価の実施</p> <p>⑧ 保護者説明会の実施内容の充実</p>	<p>○ 国公立大学現役合格36人（10%）、難関私立大学（早慶上理GMARCH）現役合格100人（28%）の実現</p> <p>○ 「志」を立てる講演会の実施と高い進学意識の向上</p> <p>○ オープンキャンパス参加方法の工夫改善と参加の徹底</p> <p>○ 理数科・普通科特進クラスの合宿及び土曜松高塾の実施状況</p> <p>○ 「松高塾」の実施状況、生徒満足度</p> <p>○ SSH実施に伴う学校自己評価及び外部（運営指導委員会）評価</p> <p>○ 出前授業（8回以上）、研究機関等体験活動（2回以上）の実施</p> <p>○ 理数科の土曜松高塾（月2回）の工夫状況</p> <p>○ 特進クラス及び希望者対象の最先端科学技術等の体験</p> <p>○ 特進クラス及び希望者クラスの土曜松高塾（月2回）の工夫状況</p> <p>○ 特進クラス及び普通科全体の進学実績の向上</p> <p>○ 研究授業（2回）を実施し、管理職を含めた研究協議の実施</p> <p>○ アンケート実施（2回）とフィードバック（2回）</p> <p>○ 生徒の授業満足度80%以上の確保</p> <p>○ 保護者対象の進路説明会の実施（2回）とアンケート結果の活用</p> <p>○ 生徒の家庭学習時間増加への協力体制</p>	<p>松高塾やグレードアップ講座の充実、自習室の拡充等「チーム松高」としての組織的な指導を推進できた。</p> <p>・ 国公立大現役合格30人</p> <p>・ 難関私立大現役合格71人（東工大、大阪大、筑波大4、埼玉大7、早大2、慶応、上智3、東京理科大5など3/24現在）</p> <p>・ 松高塾土曜14回 前期17、夏期50、後期20講座実施</p> <p>・ Spring-8見学、東京大・東京外大・群馬大の研究室見学</p> <p>・ 出前授業9回</p> <p>・ 進学力グレードアップ講座25講座実施</p> <p>・ 特進と理数科は進路説明会と合わせて保護者会を実施</p>	A	<p>・ 進学実績の向上</p> <p>・ SSH事業の充実（全校的な取組・国際性の育成）</p> <p>・ 授業評価アンケートの改善</p> <p>・ 授業改善の取組</p> <p>・ 補習体制の充実</p> <p>・ 家庭学習に対する指導（「学校進学力パートナーシップ推進事業」を活用）</p>	<p>・ 進学実績向上とともに生徒の人間の成長のために様々な取組を行い、3年間で生徒を大きく伸ばしている。</p> <p>・ 松高塾の受講や、家庭学習時間の長短と進学実績の相関関係がデータで分かるとよい。（数字を示すことは生徒に説得力がある。）</p> <p>（生徒の立場から）</p> <p>・ 様々な学力を伸ばす機会をもっと生かしていきたい。</p> <p>・ 図書館の開館時間を延長してもらいたい。</p>	
2	多くの生徒が基本的な生活習慣を確立しており、3年間皆勤賞も多い。 高い社会規範を確立し、社会のリーダーとして活躍できる生徒を育成することが求められている。 安心・安全な学校づくりを継続して行い授業に集中できる環境の確保に努める必要がある。 部活動指導では、県の上位よりもより全国を目指す部員が多い。	<p>(1) 常に自己の在り方生き方を見つめさせ、礼節を備え、友愛の精神に満ちた強固な人格の育成</p> <p>(2) 学校行事、生徒会活動の一層の充実と活性</p> <p>(3) 部活動の効率的な実施と昨以上の成果の実現（目指すは日本一）</p>	<p>① 規範意識の確立</p> <p>② 「道徳教育全体計画」等の実施</p> <p>③ 安心、安全な学校生活の保障</p> <p>④ 生徒相談体制の充実</p> <p>⑤ 生徒会行事の円滑な実施</p> <p>⑥ 一層緻密な部活動指導体制の確立</p>	<p>○ 整容指導の実施（3回以上）と個別指導の徹底</p> <p>○ 毎朝の登校指導と毎日の遅刻者数ゼロの徹底</p> <p>○ 全教員による登校指導（10回）の実施</p> <p>○ 在り方生き方教育の工夫改善</p> <p>○ 地元警察との交通安全マナーアップ運動の連携</p> <p>○ いじめ・問題行動ゼロの確保</p> <p>○ スクールカウンセラーを毎月1回招いての計画的活用</p> <p>○ 生徒相談委員会（月2回）の実施と職員研修（1回）の実施</p> <p>○ 文化祭入場者数の増加等、学校行事の充実度</p> <p>○ より充実した年間計画の検討</p> <p>○ 全国・関東大会等へ10部以上の出場</p>	<p>日常的な生徒面談、巡回やアンケート調査の実施等の組織的な生徒指導体制を確立できた。</p> <p>・ 警察署員による講話実施</p> <p>・ 生徒相談職員研修会2回実施</p> <p>・ いじめ調査アンケートの実施</p>	A	<p>・ 日常の生徒指導体制の確立</p> <p>・ 緊急対応時の保護者との連絡方法整備（HPとメール配信システムを活用）</p> <p>・ 関係機関との連携の継続</p> <p>・ 部活動記録の更新</p>	<p>・ 90周年記念式典等の儀式に臨む松高生のマナーは大変素晴らしく賞賛に値する。</p> <p>・ HPとメールシステムについては、電車の遅延時などに即座に配信するなど良く対応できている。</p>	
3	募集案内リーフレットの工夫、教員・管理職による中学校訪問や学校見学会、進学フェア、塾主催行事への参加等、積極的なPRに努めている。 さらに本校の良さを積極的にPRする工夫を重ねていく必要がある。	<p>(1) 生徒募集のより効果的な実施</p> <p>(2) 義務教育諸学校等とのさらなる連携の強化</p>	<p>① 効果的な情報発信の充実</p> <p>② 中学校等の教育機関との連携</p> <p>③ 地元小・中学校との緊密な連携</p>	<p>○ 生徒募集の充実に向けた職員研修の実施</p> <p>○ 学校案内、リーフレット等の改善と活用</p> <p>○ ホームページの更新体制の確立</p> <p>○ 中学校・塾訪問（4回以上）の実施</p> <p>○ 在学生による出身中学校訪問の実施</p> <p>○ 本校の求める生徒像の認知度</p> <p>○ 入試倍率の向上（普通科1.2倍、理数科2.0倍）</p> <p>○ 小・中学校出前授業や親子理科教室の実施</p> <p>○ 部活動の中高交流や指導教室の実施</p> <p>○ 松山高校科学展覧会（松高賞等）の実施</p>	<p>総力をあげて本校のPRに取り組めた。</p> <p>・ HP更新282回（組織的更新体制確立）</p> <p>・ 進学フェア、塾主催行事は全て参加</p> <p>・ 松中2年生全員に体験授業実施</p> <p>・ 理科教室3回</p>	B	<p>・ 入試倍率の向上（進学実績を中学生と保護者にPRする）</p> <p>・ 学校説明会の回数・実施内容のさらなる工夫</p> <p>・ 地域への一層の情報発信</p>	<p>・ HPから学校の様子が良く分かる。</p> <p>・ 松山高校新聞を地域の中学校等へ配布すると良きPRとなる。</p>	